

# 平成25年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成24年8月6日

上場会社名 図研エルミック株式会社  
 コード番号 4770 URL <http://www.elwsc.co.jp>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 朝倉 尉  
 問合せ先責任者 (役職名) 管理本部長 (氏名) 江口 慎一

TEL 045-624-8111

四半期報告書提出予定日 平成24年8月10日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成25年3月期第1四半期の業績(平成24年4月1日～平成24年6月30日)

### (1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第1四半期	321	26.6	△60	—	△59	—	△60	—
24年3月期第1四半期	254	3.6	△38	—	△36	—	△36	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第1四半期	△9.64	—
24年3月期第1四半期	△5.88	—

### (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
25年3月期第1四半期	959	629	65.7	100.23
24年3月期	1,037	690	66.6	109.89

(参考) 自己資本 25年3月期第1四半期 629百万円 24年3月期 690百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
25年3月期	—	—	—	—	—
25年3月期(予想)	—	0.00	—	0.00	0.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 平成25年3月期の業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	770	15.5	△20	—	△19	—	△23	—	△3.66
通期	1,570	4.8	42	74.2	44	28.6	34	—	5.41

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年3月期1Q	6,284,944 株	24年3月期	6,284,944 株
② 期末自己株式数	25年3月期1Q	0 株	24年3月期	0 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年3月期1Q	6,284,944 株	24年3月期1Q	6,284,944 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件等については、添付資料 P.2「1. 当四半期決算に関する定性的情報」をご覧ください。

## 添付資料の目次

1 . 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
( 1 ) 経営成績に関する定性的情報 .....	2
( 2 ) 財政状態に関する定性的情報 .....	2
( 3 ) 業績予想に関する定性的情報 .....	2
2 . サマリー情報（注記事項）に関する事項 .....	3
( 1 ) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
( 2 ) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3 . 四半期財務諸表 .....	4
( 1 ) 四半期貸借対照表 .....	4
( 2 ) 四半期損益計算書 .....	6
第 1 四半期累計期間 .....	6
( 3 ) 継続企業の前提に関する注記 .....	7
( 4 ) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	7
( 5 ) その他注記事項 .....	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する定性的情報

当第1四半期累計期間におけるわが国経済は、タブレット端末の急速な普及と電子書籍市場等の関連産業の出現があり、また復興予算やエコカー補助金等の政策効果もあって企業活動・個人消費とも回復の兆しが見えてまいりました。

当社が属する情報通信・エレクトロニクス業界におきましては、情報端末の高度化に関連する事業等一部で堅調となる分野が存在しましたが、円高の定着もあり、各企業における研究開発投資や国内設備投資の抑制傾向は継続していたため、依然として厳しい環境下にありました。

このような事業環境の中で当社は、システム・ボード製品を中心とする産業コミュニケーション事業部と、通信ミドルウェアライブラリ製品を中心とするリブウェア事業部において、新製品開発とその需要獲得、販路拡大のためのアライアンスの強化に力を注いでまいりました。

この結果、当第1四半期累計期間の業績は、売上高3億21百万円(前年同四半期比26.6%増加)となりましたが、研究開発費の増加等により、営業損失は60百万円(前年同四半期は営業損失38百万円)、経常損失は59百万円(前年同四半期は経常損失36百万円)、四半期純損失は60百万円(前年同四半期は四半期純損失36百万円)となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

#### ・産業コミュニケーション事業部

当事業では、無線LAN関連での開発需要が増加するとともに、OA機器・計測機器向けのLSIや、シリアル通信ボード・ISDN通信ボードの需要が堅調に推移いたしました。

この結果、売上高は1億91百万円(前年同四半期比35.7%増加)、セグメント損失は8百万円(前年同四半期はセグメント利益12百万円)となりました。

#### ・リブウェア事業部

当事業では、IPセキュリティ機器向けライブラリ製品やC言語によるLSI開発向けライブラリ製品の需要が堅調に推移するとともに、半導体メーカーと協調して推進してきた車載機器向け「ミラーリンク」対応製品の上市もあり、商談は拡大傾向となりました。

この結果、売上高は1億30百万円(前年同四半期比15.2%増加)、セグメント損失0百万円(前年同四半期はセグメント利益1百万円)となりました。

### (2) 財政状態に関する定性的情報

当第1四半期会計期間末における総資産は、9億59百万円となり、前事業年度末に比べ77百万円減少いたしました。これは主に、現金及び預金の増加21百万円、仕掛品の増加21百万円があったものの、受取手形及び売掛金の減少1億30百万円等によるものであります。

負債の部は、3億29百万円となり、前事業年度末に比べ17百万円減少いたしました。これは主に、買掛金の増加18百万円があったものの、賞与引当金の減少20百万円、未払法人税等の減少5百万円、製品保証引当金の減少4百万円等によるものであります。

純資産の部は、6億29百万円となり、前事業年度末に比べ60百万円減少いたしました。これは主に、利益剰余金の減少60百万円等によるものであります。

### (3) 業績予想に関する定性的情報

直近の日銀短観によりますと、企業の景況感は改善傾向が続いておりますが、一方で円高の定着による国内産業の空洞化懸念や欧州債務危機の顕在化、そして消費税増税の個人消費への影響等企業活動に大きな影響をもたらす事象が立て続けに発生しており、先行き不透明感は払拭されておられません。

このような事業環境の中で当社は、製品の開発販売を一層強化して収益力を高め、組み込みコア技術のリーディングカンパニーとしての地位を確立させることを目指しております。

平成25年3月期の業績予想につきましては、平成24年5月7日の決算短信にて開示しました予想から変更はありません。

## 2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

（1）四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用  
該当事項はありません。

（2）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
該当事項はありません。

3. 四半期財務諸表  
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成24年3月31日)	当第1四半期会計期間 (平成24年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	274,998	296,332
受取手形及び売掛金	457,411	326,447
有価証券	63,069	63,081
製品	9,812	10,419
仕掛品	39,346	60,952
原材料	1,610	1,525
その他	53,522	66,185
貸倒引当金	513	443
流動資産合計	899,257	824,499
固定資産		
有形固定資産	18,792	17,080
無形固定資産	32,574	32,004
投資その他の資産		
投資有価証券	12,310	12,200
投資不動産	69,244	68,819
その他	11,619	11,200
貸倒引当金	6,649	6,649
投資その他の資産合計	86,523	85,570
固定資産合計	137,891	134,655
資産合計	1,037,148	959,155

(単位：千円)

	前事業年度 (平成24年3月31日)	当第1四半期会計期間 (平成24年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	86,955	105,153
未払法人税等	8,278	2,304
賞与引当金	50,771	30,301
製品保証引当金	53,569	48,756
その他	132,530	129,031
流動負債合計	332,105	315,547
固定負債		
長期未払金	3,431	3,431
長期前受収益	744	31
退職給付引当金	2,998	2,998
その他	7,226	7,228
固定負債合計	14,401	13,689
負債合計	346,506	329,236
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,202,036	1,202,036
資本剰余金	81,886	81,886
利益剰余金	592,731	653,343
株主資本合計	691,191	630,578
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	550	660
評価・換算差額等合計	550	660
純資産合計	690,641	629,918
負債純資産合計	1,037,148	959,155

( 2 ) 四半期損益計算書  
( 第 1 四半期累計期間 )

( 単位 : 千円 )

	前第 1 四半期累計期間 ( 自 平成23年 4 月 1 日 至 平成23年 6 月30日 )	当第 1 四半期累計期間 ( 自 平成24年 4 月 1 日 至 平成24年 6 月30日 )
売上高	254,252	321,787
売上原価	148,343	214,528
売上総利益	105,908	107,258
販売費及び一般管理費	144,329	167,586
営業損失 ( )	38,420	60,327
営業外収益		
受取利息	932	15
受取配当金	120	140
助成金収入	375	1,155
受取賃貸料	1,185	885
その他	1,590	138
営業外収益合計	4,203	2,334
営業外費用		
為替差損	1,111	1,010
賃貸費用	726	691
営業外費用合計	1,838	1,702
経常損失 ( )	36,055	59,695
特別損失		
固定資産除却損	115	-
特別損失合計	115	-
税引前四半期純損失 ( )	36,170	59,695
法人税、住民税及び事業税	945	945
法人税等調整額	150	27
法人税等合計	794	917
四半期純損失 ( )	36,965	60,612



( 3 ) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

( 4 ) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

( 5 ) その他注記事項

( 四半期貸借対照表関係 )

四半期会計期間末日満期手形

四半期会計期間末日満期手形の会計処理については、手形交換日をもって決済処理をしております。なお、当四半期会計期間末日が金融機関の休日であったため、次の四半期会計期間末日満期手形が四半期会計期間末日残高に含まれております

	前事業年度 (平成24年3月31日)	当第1四半期会計期間 (平成24年6月30日)
受取手形	312千円	900千円

( 四半期損益計算書関係 )

売上高の季節的変動

前第1四半期累計期間(自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)及び当第1四半期累計期間(自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)

当社の売上高は、通常の営業形態として、第4四半期会計期間に完了する業務の割合が多いため、四半期会計期間毎の売上高に季節的変動があります。